

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	建築技術学科	夜・通信	1054	160	
	自然環境学科	夜・通信	986	160	
	バイオテクノロジー学科	夜・通信	1054	160	
	海洋生物学科	夜・通信	986	160	
	電気技術学科	夜・通信	680	160	
	情報システム学科	夜・通信	2006	160	
	自動車工学科 二級自動車整備士コース	夜・通信	1545	160	
	自動車工学科 二級自動車整備士コース	夜・通信	136	135	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	令和7年4月1日～ 令和10年3月31日	コンプライアンス担当
非常勤	公認会計士	令和7年4月1日～ 令和10年3月31日	財務会計担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>学科ごとにそれぞれの業界の変化を見据え、関係する企業や就職支援室などと情報を共有し、求められる知識と技術について検討したうえで、3月にカリキュラムを作成し、授業内容に反映している。</p> <p>教務規定に定められた成績評価の方法や基準に基づき、科目ごとの評価基準を作成して授業計画(シラバス)に明記している。シラバスの詳細は年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定については、教務規定にて出席時間数や成績評価基準が明確に定められており、各科目において必要な時間数の出席、試験やレポートなどの評価基準を満たした学生に単位を認定している。これらの規定については、「学生生活のしおり」にも記載し、入学後のオリエンテーションにて配布・説明している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 教務規定にて成績評定を4段階(優・良・可・不可)と定め、その判定基準も明確にし、教務便覧(専任教員用・非常勤講師用)、に記載している。また、これらの基準について学生配布用の「学生生活のしおり」にも記載し、オリエンテーション等で周知している。 成績の順位については、各科目の評定を点数化(優…4、良…3、可…2、不可1～0)し、G P Aを用いて行っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校に所定の修業年限以上在学し、学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の試験に合格した者に対して卒業の認定を行う。 これらの内容を教務規定に厳しく定め、教務便覧および「学生生活のしおり」に記載し、入学式、オリエンテーションにて説明・周知している。 また、これを厳格に運用するため様々な資料を基に、関係する教職員で卒業認定会議を行い、卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	建築技術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2244 単位時間	1122 単位時間	136 単位時間	986 単位時間	2244 単位時間	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		18人	0人	1人	8人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援。学生支援センター、就職支援室による学校生活、就職指導全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	1人 (14.3%)	6人 (85.7%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 建設業（ゼネコン、ハウスメーカー）、建築設計業、建築設備業			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士、二級建築施工管理技士、建築CAD検定（2級・3級）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	2 人	9.1%
（中途退学の主な理由） 在籍期間上限に達した長期休学者の退学、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても 在学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	自然環境学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2074 単位時間	1224 単位時間	204 単位時間	646 単位時間	単位時間	単位時間
			2074 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		18人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	1人 (10.0%)	9人 (90.0%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 環境コンサルタント、環境調査、環境分析、環境教育、造園			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 技術士補（環境）、生物分類技能検定、2級ビオトープ管理士、公害防止管理者			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在 学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	バイオテクノロジー学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1870 単位時間	918 単位時間	68 単位時間	884 単位時間		
			1870 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		13 人	0 人	1 人	12 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	3 人 (42.8%)	2 人 (28.6%)	2 人 (28.6%)
（主な就職、業界等） 食品製造・品質管理、薬品・医薬品製造・品質検査、臨床検査			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 中級バイオ技術者、毒物劇物取扱責任者、危険物取扱者			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	2 人	15.4%
（中途退学の主な理由） 経済的事情、心身的事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在 学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	海洋生物学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1768 単位時間	1326 単位時間	34 単位時間	408 単位時間		
			1768 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		27人	1人	1人	6人	7	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 （100%）	1人 （ 6.2%）	14人 （ 87.6%）	1人 （ 6.2%）
（主な就職、業界等） 水産増養殖、地方自治体（水産職）、水産卸売、港湾関係、水産土木調査、水産加工			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級小型船舶操縦士、潜水士			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	3人	9.1%
（中途退学の主な理由） 在籍期間上限に達した為、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在 学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	電気技術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間	1258 単位時間	272 単位時間	510 単位時間		
			2040 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		36人	1人	3人	7人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法 （概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準 （概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等 （概要） 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	1人 (5.3%)	18人 (94.7%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 電気工事・施工、通信工事、電気製品修理・販売			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第一種電気工事士、2級電気工事施工管理技士、家電製品エンジニア			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	4人	10.6%
（中途退学の主な理由） 在籍期間上限に達した為、進路変更、心身の事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在 学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2278 単位時間	629 単位時間	374 単位時間	1275 単位時間		
			2278 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		35人	1人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 （100%）	1人 （ 5.6%）	13人 （ 72.2%）	4人 （ 22.2%）
（主な就職、業界等） プログラマー、システムエンジニア、ネットワークエンジニア、カスタマエンジニア			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、ITパスポート			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	3人	7.5%
（中途退学の主な理由） 在籍期間上限に達した為		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在 学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース(昼)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2005 単位時間	725 単位時間	単位時間	1280 単位時間	単位時間	単位時間
			2005 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	63人	2人	7人	1人	8人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
(概要) 担任制による個別支援。学生支援センターと就職支援室による学校生活や就職全般の支援。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100.0%)	0人 (0%)	37人 (100.0%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、企業見学・インターンシップの斡旋、 履歴書作成指導、面接指導等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、アーク溶接技能特別教育、ガス溶接技能講習			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	3人	3.8%
(中途退学の主な理由) 在籍期間上限に達した為、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在学 同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース(夜)	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1994 単位時間	714 単位時間	単位時間	1280 単位時間	単位時間	単位時間
			1994 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	5人	0人	1人	1人	2人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 科目ごとのシラバスに記載し、オリエンテーションにて学生に説明している。			
成績評価の基準・方法			
（概要） 試験・レポート・学習態度・出席状況等で総合的に評価する。詳細はシラバス参照。			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 学年ごとのすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。			
学修支援等			
（概要） 担任制による個別支援、資格試験前には対策授業を実施している。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、危険物取扱者			
（備考）（任意記載事項） 8名全員が企業在籍者。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.7%
（中途退学の主な理由） 在籍期間上限に達した長期休学者の退学		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、スクールカウンセラーによる個別支援。中退見込み者、中退後の学生に対しても在学学生同様の個別支援、就職サポートを行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築技術学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自然環境学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
バイオテクノロジー学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
海洋生物学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
電気技術学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
情報システム学科	150,000 円	570,000 円	430,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース)	150,000 円	570,000 円	530,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース 夜間)	150,000 円	300,000 円	387,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・給付型学内奨学金制度 (特待生制度、AO入試制度、特別奨学生制度) ・給付型奨学金の採用候補入学生に対しては、猶予申請があった場合、その決定まで入学金と授業料の納入を猶予している。 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価の主な評価項目として、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学生支援」等があり、4段階による『自己評価』を行った。校内学校評価委員会は校長、学務部長、就職支援室長、総務部次長、学科長代表、高等課程教務主任から構成されていて、「自己評価結果」を踏まえ、改善策を策定した。それら一連の取組について、「学校関係者評価委員」による評価・ご意見を聴取するとともに、その結果を教職員に提示し、学校運営や教育活動の改善のために活用を図った。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
小樽双葉高等学校 校長	令和7年4月1日～令和10年3月31日	中学・高校関係者
大通地区西17丁目町内会長	令和7年4月1日～令和10年3月31日	地域住民 (町内会)
専門課程 第4期卒業生	令和7年4月1日～令和10年3月31日	卒業生
専門課程 自動車工学科 保護者	令和7年4月1日～令和10年3月31日	在校生保護者(PTA)
株式会社滝川重工 専務取締役	令和7年4月1日～令和10年3月31日	関連業界等関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://s-kagisen.ac.jp/about/disclosure/		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.s-kagisen.ac.jp
--